



# 2022年 新年のご挨拶



あけましておめでとうございます。激動の2021年を乗り越え、新しい1年をともに迎えられること、心より嬉しく感じています。2022年の幕開けに際し、ご挨拶申し上げます。

2021年の出来事として、特筆すべきはやはりウッドショック。資材調達と供給の見通しが立たない中、現場は非常に苦労したと思います。苦しい状況の中でも、早め早めの段取りを立てて工夫をこらしてくれた従業員の皆さんには、感謝の気持ちでいっぱいですが、利益率は2020年と近い水準で推移しています。オリジナルのウッドデッキに注力したことが一因といえるでしょう。3月の期末に向け、まだまだ巻き返しのチャンスはあるはずですが、引き続き、努力を重ねていきたいと思います。

社内報発刊を皮切りに、「もっとエンドユーザーに近づいた仕事ができないだろうか」と考えるようになりました。そこから、BtoCtoBのビジネスを目指した取り組みがはじまりました。Instagramを開設し、インストラクターの力を借りながら投稿をスタート。半年間にわたってインストラクターから多くのアドバイスを受け、当初はたった8名だったフォロワーも、今では1500名にまで増加。単にフォローをしてくれるだけではなく、見積もりやサンプル送付の依頼があったり、神奈川県にお住まいのお客様からは、100万円弱の受注をいただいたり。活動と成果が結びつき、喜ばしく感じています。1500フォロワーを突破した後は2000、2500……と壁があると聞きました。一つひとつ乗り越え1万フォロワーを目指している真最中です。

成果があった一方で、私たちの抱える課題も浮き彫りになりました。コロナ禍において、流通の危機が大きく露呈したのです。素材を仕入れて販売するという現在の事業だけでは、いずれ限界が訪れるでしょう。付加価値を高めていかなければなりません。

先日、東京ビッグサイトで開催された「ジャパンホームショー」という展示会に足を運びました。そこに出席していた、とある会社の話をします。その会社はもともとは私たちと同じような材木屋でしたが、「流通だけでは限界がある」と感じ2次加工や完成品の販売に着手したのです。木材のオーディオや木材仕立てのキャンピングカーなど、目新しい製品が数多く展示しており、非常に大きな刺激を受けました。当社も、流

通という枠を飛び出し、新たな一步を踏み出す時期にあるのではないのでしょうか。ウッドデッキの販売にとどまらず、例えばウッドデッキを加工したりコラボレーション企画を立ち上げたりと、今後の取り組みとして1つの方向性が見えてきたと感じています。

2022年は、引き続きInstagramのフォロワーを増やしてエンドユーザーとの接点を広げていくとともに、施工店とパートナーシップを組み、販売と施工を一貫して行える体制を構築したいと考えています。ウッドデッキをメインとした販売と流通にも引き続き力を入れ、地域展開していく所存です。オリジナル製品の加工や開発といった新たなチャレンジにも積極的に取り組んでいければ幸いです。

私たちフォレスティ峯岸の事業定理は、「森のように人にやさしい」こと。目指したいのはお客様に寄り添い、周囲とともに成長していける会社です。資材や情報を提供するのはもちろん、お客様のあらゆる困り事を解決できるような総合商社になっていくべきであ

ると考えています。今後とも皆様の力をお借りしながら一緒に育っていける会社でありたい……心からそう願っています。まずはInstagramのフォローをお願いいたします！

さて、37号にわたった社内報も今回で最終号を迎えます。ご協力いただいた皆様には、改めて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。社内報を発行した3年の間に、世の中は大きく様変わりしました。そんな激流の中で、会社の歩みを「社内報」として残せたのは、非常に有意義だったと考えています。一読者として、この社内報を読むのはとても楽しいひとときでした。

社内報は今回で幕を下ろしますが、フォレスティ峯岸の挑戦はこれからも続いていきます。今後とも、何卒よろしく願い申し上げます。

代表取締役社長

みね ぎし ひろ のり  
**峯岸 宏典**

フォレスティ峯岸  
公式サイト



ランディング  
ページ



Instagramは  
こちらから





# 施工事例集

家と庭をつなぐもうひとつのスペース

Case1

227'Sカフェ



おしゃれなカフェで  
ひととき



庭にでると  
みんな笑顔

Case4

ONE BLOCK  
太白区S邸



Case6

千葉建業  
泉区K邸



自然の中で家族と過ごす  
やすらぎのとき

Case5

ヘリテージホーム  
青森県YN邸

日暮れとともに  
ライティング



日差しを浴びてティータイム



サーフィンの  
あとのシャワータイム



Case2

テクノロジーリビング  
ビックママ  
北目町店

なにをして  
遊ぼうかな



Case3

当社事務所



Case7

ヘリテージホーム  
七ヶ浜町A邸

Case8

佐元工務店  
若林区Y邸





日本の  
凄い建築

## 迎賓館赤坂離宮

世界に誇るべき日本の建築の数々。

今回ご紹介するのは、世界各国の国王、大統領などをお迎えし、  
外交活動の舞台となっている迎賓館赤坂離宮です。

明治期の本格的な洋風建築の到達点とも言えるこの建物を、存分に味わってください！

設計：片山東熊

### 東宮御所から迎賓館赤坂離宮までの歩み



片山東熊の手により、1909年に東宮御所として建築された赤坂離宮は日本では唯一の  
ネオ・バロック様式による宮殿建築物で、当時の建築・美術・工芸界の総力を結集した  
建築物であると言えます。

その後、日本が国際社会へ復帰し外国から賓客を迎えることが多くなったことに際して、  
1968年に赤坂離宮を改修し、迎賓館にするための大規模工事が開始されました。改修  
は、赤坂離宮の文化財的価値を保存しながらも、賓客が快適かつ安全に宿泊でき、公式  
行事が行えることという条件のもと進められました。そして6年後、1974年3月に工事  
を終えて迎賓館として開館され、2009年には明治期以降の建造物として初めて国宝に  
指定されています。

### ネオ・バロック方式とは



ネオ・バロック方式のベースは、楕円や動きのある形を用いて非日常を生み出す表現が  
特徴の、17世紀の美術・建築様式であるバロック様式です。その後、19世紀末に欧米で  
流行したのが、より豪華なネオ・バロック方式です。迎賓館赤坂離宮からは、建物の左右  
両翼が湾曲して前方に出ている設計や、建物の中央部屋根にある阿吡の鎧武者、両脇  
の屋根の地球儀などからネオ・バロック様式が伺えます。

### 迎賓館赤坂離宮に隠された、建築技術

迎賓館赤坂離宮は、明治期における洋風建築の到着点であるため、どこを取っても素  
晴らしい技術が溢れ出てきます。例えば、石の外壁を組んで固定する技術や石を彫刻に  
する技術、木製窓の加工取り付け技術など、挙げていくと切りがないほどです。

### 朝日の間

朝日の間は、正面玄関から続く中央階段を登った先にある、迎賓館赤坂離宮の中でも最も格  
式高い部屋で、表敬訪問や首脳会談なども行われています。天井には、フランス人画家が描  
いた朝日を背にした暁の女神オーロラがあり、これが室名の由来です。また、床には47種類  
の色の糸で織られた「緞通（だんつう）」という敷物が敷かれていて、微かな色の違いから日  
本風の繊細なぼかしを表現し、落ち着いた雰囲気と格調を演出しています。



木に変えて、変わったのは暮らしとワタシ

# 木づかい運動で ウッド・チェンジ!

木を「つかい」、森林や地球に「きづかい」をする「木づかい運動」。林野庁が平成17年度から推進する本取り組みの目的、そして実際の成果とは……?

## 木づかい運動とは?



「木づかい運動」とは、日本の木を積極的に利用することで、日本の森林の保全を推進する国民運動のことです。しかし、なぜ木を使うことが森林の保全に繋がるのでしょうか?実は、日本の森林の約4割は自然の力で育った天然林ではなく、人が植えて育てた人工林です。天然林は自然に維持されているため、人間の手を加えるとむしろ悪影響となりますが、人工林では人の介入が欠かせません。なぜなら、人工林ではスギやヒノキが過密状態で植えられていて、放置すると他の動植物の活動を阻害し、森林全体が荒廃してしまうからです。つまり、人工林には間伐が不可欠。ここで、伐採した木材を様々な用途に使うことで、木材資源を無駄なく利用できるのです。

## 木づかい運動の メリット

木は、地球温暖化の大きな要因となる二酸化炭素を吸収し、酸素を放出します。そして、体内に蓄えられた炭素は幹・根・枝を形成し、伐採後も燃焼されない限りは二酸化炭素として放出されません。すなわち、私たちが机や住宅として木材を使っている間も、地球に優しい状態が続いているのです。また、木材は床材として衝撃を緩和したり、室内の湿度を調節したり、香りによるリラックス効果があったり、私たちの暮らしにもポジティブな影響を与えます。

## 身近なものを木に変える、 ウッド・チェンジ!

日本マクドナルドは2019年に国産木材を積極的に活用することを発表し、木を生かした店舗出店や改装を進めています。きっかけは、近年多発する自然災害。とりわけ、2018年に西日本を襲った集中豪雨ではいくつかの店舗の建て替えを余儀なくされ、森林を守る大切さに気付かされたそうです。現在は建物を支える構造材として木材を取り入れていて、2階建ての木造店舗の建築も目指しています。皆さんも、身近なものから「ウッド・チェンジ」してみたいはいかがでしょうか。

## 編集後記

今まで、たくさんの方々にご覧いただき、ありがとうございました。  
お客様の声は当社に届いておりました。

毎月社内報を待っていると下さる方、初めて知る情報に感動して下さる方、当社としましても、大変嬉しく思っておりました。  
今後はインスタ、ホームページで、またいろんな情報を発信して参りますので、引き続き、宜しくお願ひ致します。

また、この社内報にご協力いただきましたお客様、  
制作をしていただいているグレイスコミュニケーションズ様、  
本当にありがとうございました。

株式会社フォレスティ峯岸 相澤 真貴

